

裁判員制度は やっぱいらない！

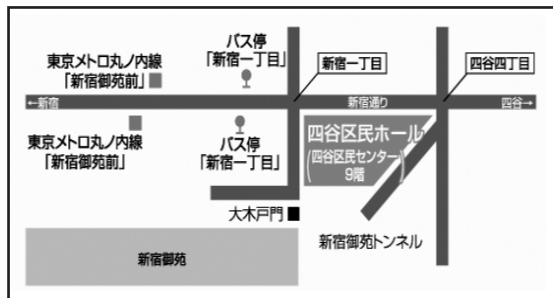
10.2

全国集会

日時 **10月2日(金)** 18:00 開場
18:30 開会
会場 **四谷区民ホール**

東京都新宿区内藤町87番地
※丸ノ内線「新宿御苑前」下車徒歩5分

主催 **裁判員制度はいらない!大運動**



●入場無料



●呼びかけ人

足立 昌勝	関東学院大教授
雨宮 処凛	作家
嵐山 光三郎	作家
池内 ひろ美	家族問題評論家
今井 亮一	交通ジャーナリスト
内田 博文	九州大学法学研究院教授
蛭子 能収	漫画家
大分 哲照	真宗本願寺派福岡時対協会長
織田 信夫	弁護士
玄侑 宗久	作家・臨済宗僧侶
崔 洋一	映画監督
斎藤 貴男	ジャーナリスト
新藤 幸幸	千葉大教授
高山 俊吉	弁護士
西野 瑠美子	ルポライター
若田 泰	京都市医連中央病院医師



- 発言 **斎藤貴男さん** ジャーナリスト
- 秋田光治さん** 愛知県弁護士会・弁護士
- 玄侑宗久さん** 作家・臨済宗僧侶 (要請中)
- 町内会から
- 市民運動から
- 労働組合から
- ビデオ上映 4.21日比谷集会～8月行動
- レポート 第1号裁判の問題点はここだ
- 各地報告 裁判への抗議行動
- まとめ **高山俊吉さん** 東京弁護士会・弁護士

8月3日東京地裁を皮切りに全国で裁判員裁判が、国民の反対を押し切って強行されました。

私たちは、2007年から裁判員制度廃止を掲げ、署名・街頭宣伝、記者会見、集会や学習会を積み重ね、裁判開始に際しては、東京、埼玉、青森、神戸、大阪、山口、福岡、千葉、津、高松の各地裁で、抗議の声を挙げました(9.15現在)。

この裁判は、私たちの危惧通り、「裁判ショー」に終始し、当事者である被告人・弁護人の主張は退けられ、判決は検事の主張通りの重罰でした。第1号事件の被告人は、「法廷全体が敵」だったとして控訴しました。「量刑」だけが争点の事件で、裁判員にも大きな苦痛を与えています。

10月～11月には、死刑事件や否認事件が始まります。数日程度で判決まで行うのは、無茶としかいいようがありません。被告人の裁判を受ける権利は蹂躪され、冤罪発生は必至です。

もう、はっきりしています。やっぱり、裁判員制度は、廃止しかない！ 地裁抗議行動に全国で取り組もう！
10.2全国集会を成功させ、廃止の声を広げよう！

「私の拒否をみんなの拒否へ
みんなの拒否で制度廃止へ」

私の拒否をみんなの拒否へ みんなの拒否で制度廃止へ



8.3第1号裁判に抗議する包圍デモに450名が参加

●8.3-6 東京地裁
(裁判員候補者出席率47%)
初めての裁判員裁判は、危惧した通りの「市民参加」という名の「裁判ショー」だった。検事主張通りの判決で懲役15年の重罰。被告人控訴。

●9.2-4 青森地裁
(裁判員候補者出席率34%)

初めての性犯罪事件。
事前に裁判員の男女比を明らかにせず、選任手続の透明性が確保されていないと批判される。
判決は求刑通り懲役15年。
裁判員の感想：「事件の説明を受ける時間がもっとほしかった」「(多言になるから)深酒をやめ、早く裁判のことを忘れたい」

●9.7-9.9 神戸地裁
(裁判員候補者出席率46.6%)

●9.8-10 大阪地裁
(裁判員候補者出席率41.4%)
神戸地裁は、父親を灰皿で殴った事件で、執行猶予。
大阪地裁は、覚醒剤取締法違反で懲役5年判決。
法廷が説教の場に。裁判が「人格」を裁く場になる危惧が現実化。
裁判員の感想：「事実関係に問題がある案件では、この日程では無理」(神戸) 「量刑を決めるのは、数学の足し算や割り算とは違う」(大阪)



9.1に裁判員選定手続があり、1～2日、抗議行動。地元や仙台、東京の弁護士、市民、「裁判員いらなインコ」もかけつけた



9.8大阪地裁前抗議行
百万人署名運動・大阪連絡会を中心に、8.7神戸地裁～8.8大阪地裁抗議行動に、のべ40名が参加
「裁判員いらなインコ」はここでも圧倒的存在感

●8.10-12 さいたま地裁
(裁判員候補者出席率45.5%)

実刑か執行猶予かを争う裁判。
自首していたが、懲役4年6月の実刑(求刑6年)
裁判員の感想：「非常に重くて苦しい制度」「もう一日あったら倒れていた」「疲れた。もういい」
裁判員の記者会見では、地裁職員が、発言を「守秘義務違反」だと、さえぎる事態も。

●9.8-9.10 山口地裁
(裁判員候補者出席率38.8%)

介護疲れの夫が妻に軽傷を負わせて、「殺人未遂」で起訴された事件。
執行猶予に保護観察をつけた。
記者会見では、保護観察について、地裁が、「守秘義務違反の可能性」で報道自粛を要請。

●9.9-11 福岡地裁
(裁判員候補者出席率38.7%)

覚醒剤取締法違反で、懲役7年(求刑9年)
候補者の内、4人が辞退を希望したが、1人の辞退が初めて認められなかった。候補者の一人は、取材に対し、「3日間拘束されると仕事に影響する。絶対に選ばれたくない。制度にもいい印象をもっていない」と述べた。

各地抗議行動予定

9.15現在

- 9月29日(火) 横浜地裁
- 同日 福島地裁郡山支部
- 10月 6日(火) 岡山地裁
- 同日 東京地裁
- 同日 名古屋地裁
- 同日 岐阜地裁
- 同日 徳島地裁
- 10月 7日(水) 福島地裁
- 10月27日(火) 富山地裁
- 同日 京都地裁
- 同日 大阪地裁
- 同日 松江地裁
- 11月17日(火) 札幌地裁

※行動予定および報告・写真などを事務局までお寄せください。ニュースやホームページに掲載します。



「裁判員制度に反対するさいたま市民の会」を中心に、大雨の中を、30名が抗議行動



抗議行動が、NHK山口で朝・昼・夜に放送、中国新聞など地元紙は、カラーで報道



「市民のための刑事弁護を共に追求する会」を中心に25名が参加。テントを張って訴え、圧倒的注目